

令和4年度 生涯学習部研修会報告（中濃地域）

日時：令和4年10月29日（土）～30日（日）

時間：1日目10：30～16：10、2日目9：00～14：30

形式：WEB研修会（ZOOMを使用）

テーマ：「基礎編 足部の機能解剖と運動学，足病患者の病態・治療，運動学的アセスメント」

【1日目】

第1講 足部の解剖学と運動学：福富 広海 先生（公立豊岡病院日高医療センター リハビリテーション技術科）

第2講 下肢の血管解剖学と下肢動脈疾患の治療：齋藤 達弥 先生（桑園中央病院 医師）

第3講 糖尿病足病変の病態と治療：松本 健吾 先生（大分岡病院 医師）

【2日目】

第4講 IWGDF practical-guidelines に基づいた足病のリスク層別化と分類方法：

河辺 信秀 先生（東都大学 幕張ヒューマンケア学部 理学療法学科 准教授）

第5,6講 足病患者の足部の形態的・運動学的特徴，解剖学と運動学からみた足部のアセスメント：

大関 直也 先生（東京医科大学茨城医療センター リハビリテーション療法部）

参加人数：33名

足病患者に対する理学療法を展開するうえで必要となる基本的知識について、2日間全6講義に渡り開催いたしました。初日は養成校で詳細に学ぶことが少ない足部の解剖学と運動学について、運動器認定理学療法士の福富先生からご講義いただくことから始まり、下肢動脈疾患や糖尿病性足病変に関する医学的治療や術後管理について医師の齋藤先生、松本先生に詳細にご教授いただきました。2日目は糖尿病足病変における理学療法の第一人者である河辺先生より、国際的な足病変のガイドラインに基づいた評価とリスク分類方法をご教授いただき、最後に大関先生よりバイオメカニクス理論やご自身の研究成果に基づいた足病患者の評価についてご講義いただきました。

現在、我が国の下肢切断原因の第1位は糖尿病足病変や下肢動脈疾患による「足病」に由来します。理学療法士として、切断後はもとより切断を予防するための知識や評価、介入法を学ぶことの重要性を理解できる非常に充実した内容の濃い研修会となりました。

本研修会は今回で2年目となりますが、参加者の方も全国からご参加いただき、ベテランの先生から今年度入会の先生まで、新たに診療報酬を獲得した糖尿病足病変（足病）における全国的な関心の高さを感じました。

最後に福富先生、齋藤先生、松本先生、河辺先生、大関先生、お忙しい中貴重なご講演を賜り、誠にありがとうございました。



写真：講師及びスタッフ

（左上：大関 直也先生，右上：河辺信秀先生、
左下：福富 広海先生）

生涯学習部 中濃地域担当 片桐 由浩，小池孝康